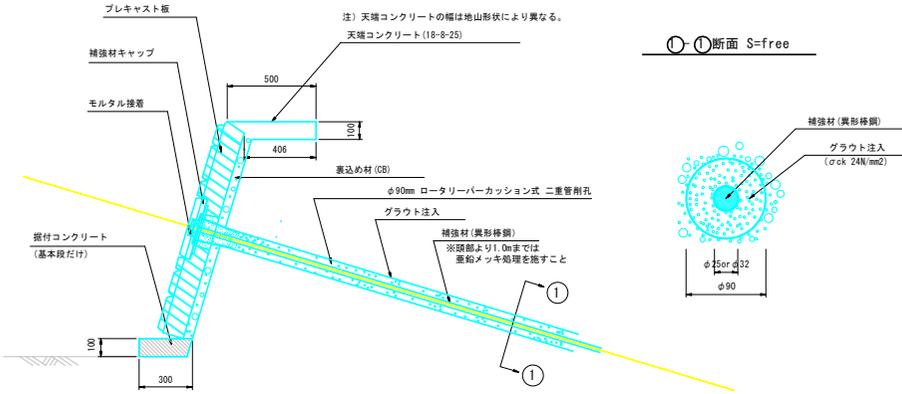


地山補強土工構造図(1/2)

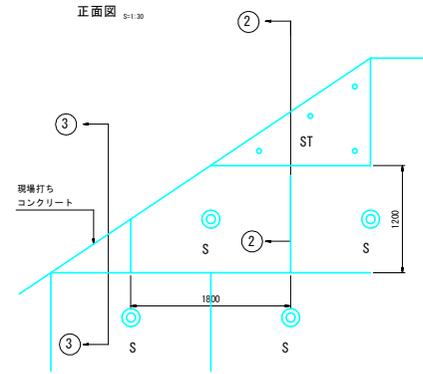
標準詳細構造図 S=1:15



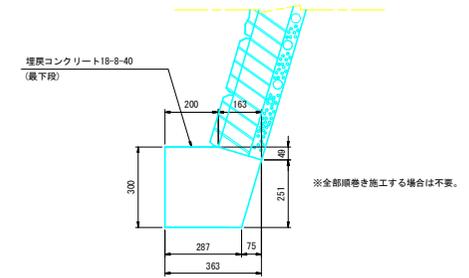
天端工 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
型枠		m ²	(1.0)	0.1x10=1.0
コンクリート	18-8-25	m ³	(0.453)	1/2x(0.406+0.500) x0.1x10=0.453

天端摺合せ部詳細図



埋戻コンクリート詳細図 S=1:10



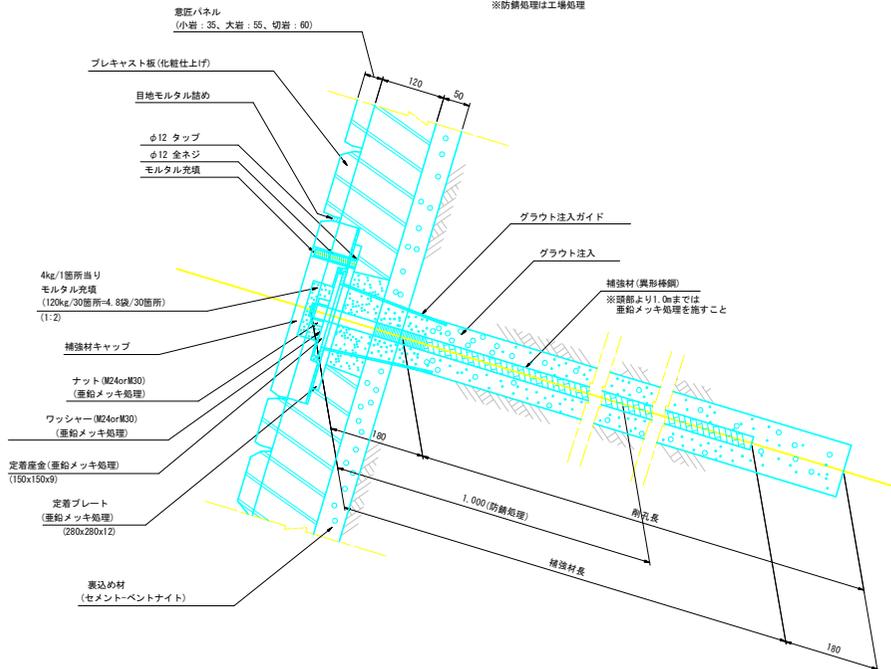
埋戻コンクリート 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
型枠		m ²	(3.0)	0.3x10=3.0
コンクリート	18-8-40	m ³	(0.95)	(0.363x0.3-1/2x0.163x0.048-1/2 x0.251x0.076)x10=0.95

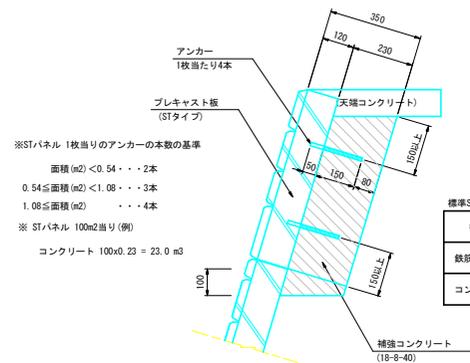
※既設ブロック等の補強の場合は現状に合わせた形状とする。形状によりST用鉄筋アンカーを4本/2.16m²で差筋をする。

定着部詳細構造図 S=1:5

※防錆処理は工場処理



②-②断面 S=1:10

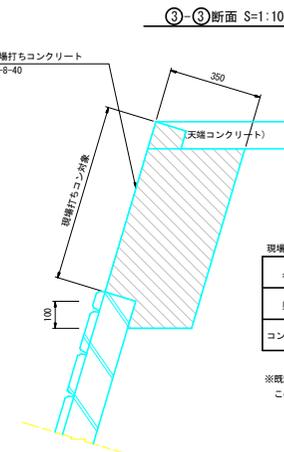


※STパネル1枚当たりのアンカーの本数の基準
 面積(m²) < 0.54・・・2本
 0.54 ≤ 面積(m²) < 1.08・・・3本
 1.08 ≤ 面積(m²)・・・4本
 ※STパネル 100m²当り(例)
 コンクリート 100x0.23 = 23.0 m³

標準STパネル(面積1/2x1.2x1.8=1.08m²当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
鉄筋アンカー	D13 L=150x50	本	4	
コンクリート	18-8-40	m ³	0.25	(1/2x1.2x1.8) x0.23=0.248 m ³

③-③断面 S=1:10



現場打ちコンクリート 1m³当り

名称	規格	単位	数量	摘要
型枠		m ²	2.857	
コンクリート	18-8-40	m ³	1.000	2.857x0.350=1.000

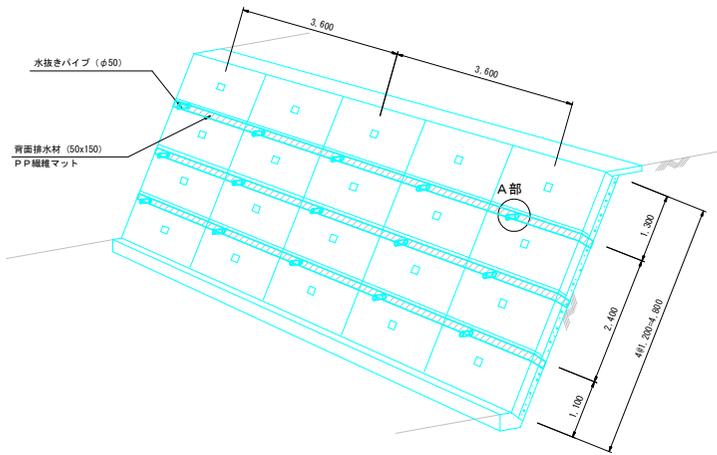
※既設ブロック等の補強の場合はSTを使用せず現場打ちを基本とする。この時、ST用鉄筋アンカーを4本/2.16m²で既設ブロックに差筋をする。

参考図

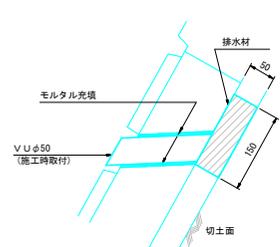
工事名	R2徳土 高森東谷 佐・下 管理用道路工事(1)		
路線名等	高森東谷		
工事箇所	名東郡佐那河内村下字中道(第1分割)		
図面名	地山補強土工構造図(1/2)		
縮尺	図示	図面番号	1 / 3
年度	令和2年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局		

地山補強土工構造図 (2/2)

背面排水材設置図 (参考 S=1:50)



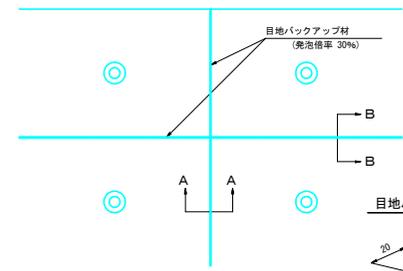
A部断面 S=1:5



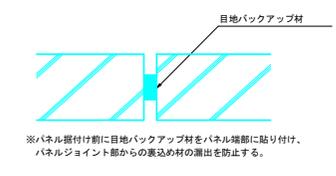
※切土面が50mm以上露れる場合は切土面に背面排水材を設置して掘り管を伸ばす。
※H.W.Lより下に水抜き管を設置する時は逆流防止弁を設置する。

パネルジョイント部目地バックアップ材

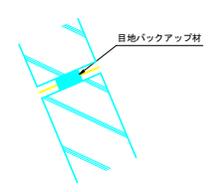
正面図



A-A平面図 S=1:5

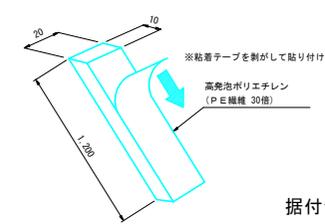


B-B断面図 S=1:5



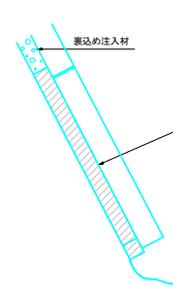
※パネル据付け前に目地バックアップ材をパネル端部に貼り付け、パネルジョイント部からの裏込め材の漏出を防止する。

目地バックアップ材詳細図

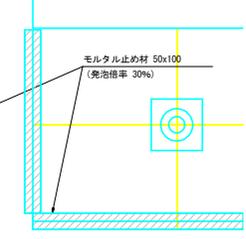


モルタル止め材使用例 (参考図)

断面図



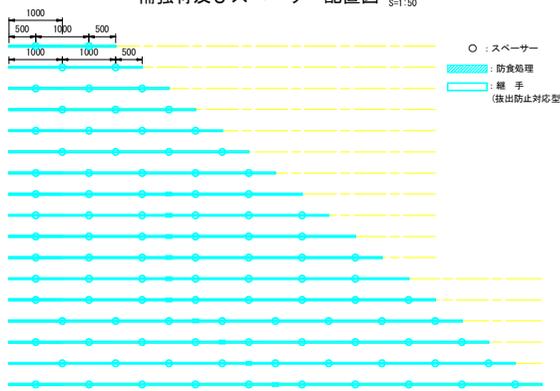
正面図



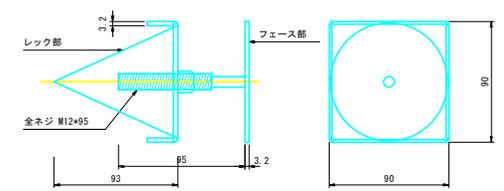
※裏込め注入前にパネル下端及び左右端部にセットし、裏込め材の漏れを防ぐ。
※数量には計上していない。

補強材長 (m)	規格 (m)	スペーサー (箇所)
2.0	(つなぎ無し)	2
2.5	(つなぎ無し)	2
3.0	(つなぎ無し)	3
3.5	(つなぎ無し)	3
4.0	(つなぎ無し)	4
4.5	(つなぎ無し)	4
5.0	(つなぎ無し)	5
5.5	(3.0+2.5)	5
6.0	(3.0+3.0)	6
6.5	(3.0+3.5)	6
7.0	(3.0+4.0)	7
7.5	(3.0+4.5)	7
8.0	(3.0+5.0)	8
8.5	(3.5+5.0)	8
9.0	(4.0+5.0)	9
9.5	(4.5+5.0)	9
10.0	(5.0+5.0)	10

補強材及びスペーサー配置図 S=1:50

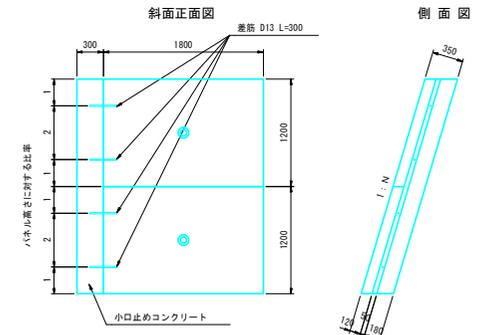


据付金具構造図 S=1:2



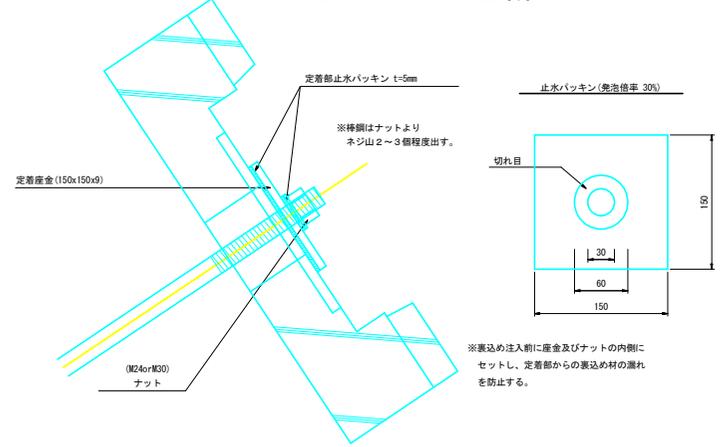
- 使用方法 -
※法面整形後、金具レッグ部を地山に打込み、フェース部をネジで調整してパネルを据え付ける。
※パネルと地山との隙れが大きい場合は代替品も使用。

小口止めコンクリート詳細図 S=1:30

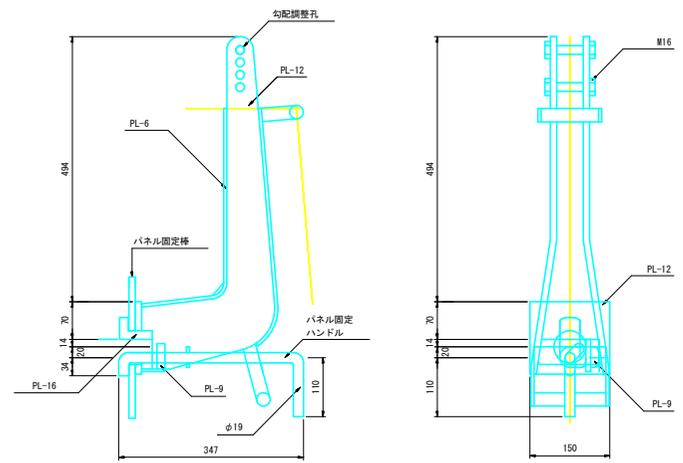


※切断パネルなどは上記比率で差筋を入れる。
※パネル高さ800mm以下は1本する。

定着部パッキン取付け図 S=1:3



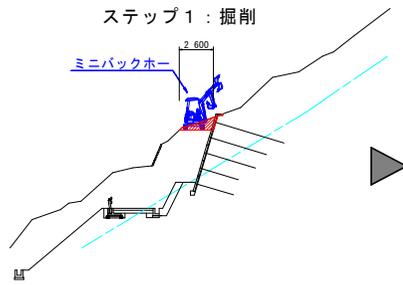
パネル吊り金具詳細図 S=1:5



参考図

工事名	R2徳土 高森東谷 佐・下 管理用道路工事(1)
路線名等	高森東谷
工事箇所	名東郡佐那河内村下字中道(第1分割)
図面名	地山補強土工構造図(2/2)
縮尺	図示 図面番号 2 / 3
年度	令和2年度
事業者名	徳島県東部県土整備局

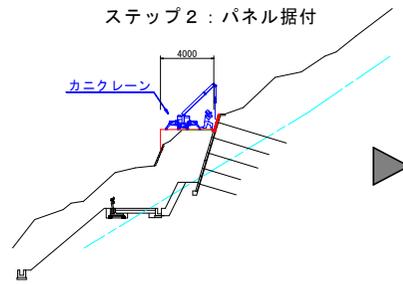
地山補強土工施工要領図(参考) S=1/200



ステップ 1：掘削

ミニバックホー

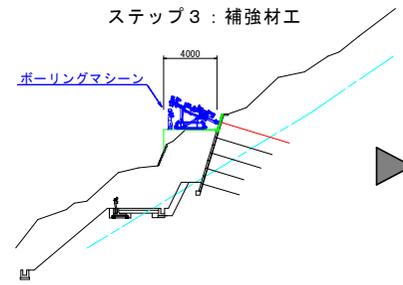
バックホウにて、パネル1枚分(約1.2m)掘削。



ステップ 2：パネル据付

カニクレーン

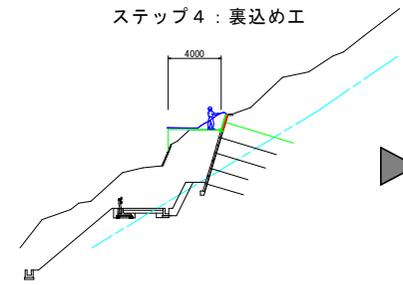
据付けコンクリートを設置後、専用の吊具を使用して、所定の位置にPAN WALL板を精度良く設置。
(2段目以降は、専用の背面排水材を設置後に行うこと)



ステップ 3：補強材工

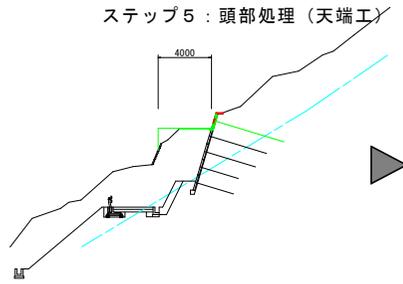
ボーリングマシン

ロータリーパーカッション等を使用して削孔し、グラウト注入・補強材の挿入。



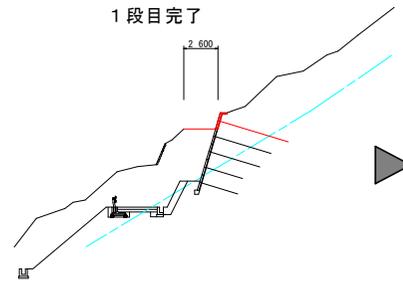
ステップ 4：裏込め工

パネルと地山との隙間に、裏込め材を注入。

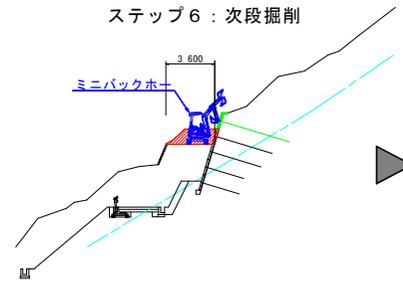


ステップ 5：頭部処理(天端工)

トルクレンチにて補強材頭部を定着し、キャップを装着。



1 段目完了

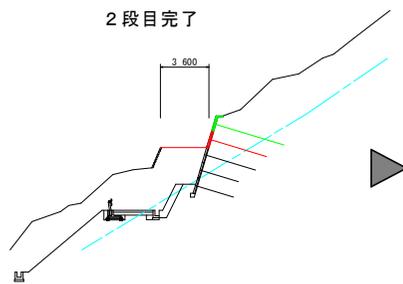


ステップ 6：次段掘削

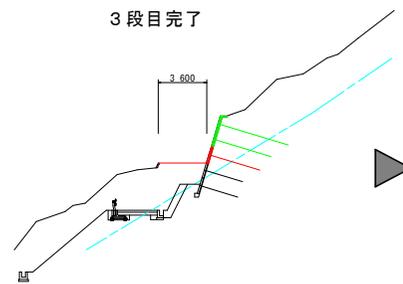
ミニバックホー

バックホウにて、パネル1枚分(約1.2m)掘削。

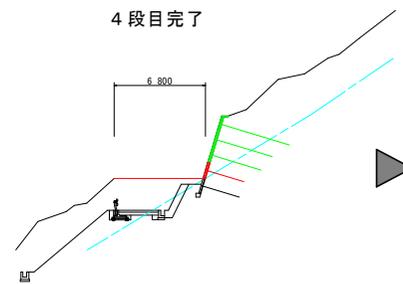
以後、ステップ2~6
繰り返し



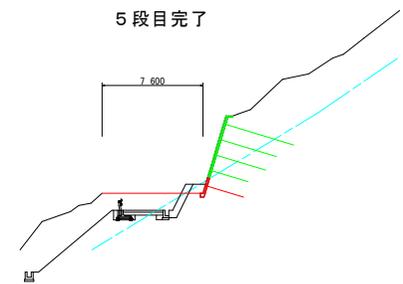
2 段目完了



3 段目完了



4 段目完了



5 段目完了

最終段定着後に、埋戻コンクリートを施工。

参考図

工事名	R2徳土 高森東谷 佐・下 管理用道路工事(1)		
路線名等	高森東谷		
工事箇所	名東郡佐那河内村下字中辺(第1分割)		
図面名	地山補強土工施工要領図(参考)		
縮尺	S=1/200	図面番号	3 / 3
年度	令和2年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局		